

新春のご挨拶



「春を呼ぶ花」

自然は巡り、いつも通りの春がやってきました。しかしこの時期、誰も厄災への思いから離れることはできません。そして改めて歴史を振り返るとあまりにも多くの疫病の中に私たちは繰り返し遭遇してきたことを思うのです。

日本で初めて疫病が書物に登場するのは「日本書紀」^{ナニノキヨ}。崇神天皇のころ、民の半分が亡くなったと書かれています。すぐその後、天平の時代、やはり天然痘が広がり、聖武天皇は、祈りを込めて東大寺を建立し、人々は奈良の大仏に縋りました。そ

の後もペストやコレラ近くはスペインカゼ等々疫病は忘れたころ形を変えて必ずやってくるのです。しかし、自然は変わらずいつの時代も人々を生き返らせます。

丁度今、新型コロナの厄災の中も、春はいつも通りめぐってきました。木偏に春とかく万葉仮名「椿」に当時の人々も思いを寄せました。色の少ない季節に春を告げる花。寒い季節に緑の葉を持ち、厚みがあり、つややか、真っ赤な花を咲かせるその生命力に人々は気づかされます。万葉の時代から1300年をこえて今に繋がる椿の姿、今この辛い時期、春を呼んでくれます。

名誉会長 加賀美幸子



コロナ時代に社会から求められる朗読を目指して

昨年は新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に見舞われ、上半期の協会活動の全てを中止せざるを得ませんでした。

4月には事務処理をテレワークに移行、10月以降は感染症対策を講じながら、オンラインも活用して朗読教室の開講、朗読アラカルトの実施等出来る限りの努力をしてみました。これらに対し会員の皆様から寄せられたご理解とご協力で心より感謝申し上げます。

今年には協会開設20周年の記念すべき年になりますが、今年も

活動全体が感染状況に左右されることを覚悟しなければなりません。

京都大学前総長の山極寿一氏は「コロナで大変なことは移動する自由、集まる自由、対話する自由が奪われたこと。」と指摘しております。「新しい生活様式」はSNSが主流になるかと思えます。しかし、コロナ後、本当に手にすべきことは自粛を越えた濃密な接触・自由を取り戻すことではないかと考えます。今、活動の自由は奪われておりますが、朗読そのものが否定された訳ではありません。コロナ時代の今こそ社会に受け入れられ求められる朗読とは何かを考え、コロナに対しては慎重さを保ちながらこの1年を過ごしてまいりたいと思います。

理事長 伊澤逸平

エッセイ



チャップリンのメニュー

俳優になって40年以上になりますが、日本朗読文化協会に入り改めて表現について学び直しをさせて頂いています。

名優チャップリンにはレストランでメニューを読むだけで、居合わせた客を笑

わせ泣かせたという逸話があります。以前は「流石だなあ」

と、ただ感心していましたが、近頃は「朗読」の核心をかの名優に教えていただいたような気がしているのです。一人芝居でアジアや欧州各地を旅した時、言葉の通じない客席にどう対して良いのか、舞台の袖で身の竦む思いをしました。が、かの名優の逸話がそれを救ってくれたのです。「言葉の壁」は自分で作っていました。以来レストランのメニューは私の朗読教室のテキストです。

理事 特別講座 講師 中西和久

12月12日配信



公式YOUTUBEチャンネルにて
12/26まで御覧いただけます。



第13回 朗読アラカルト～オンライン～2020.12.12

	作品	作者	出演者
Aステージ 13:00 進行：飯島晶子	1 サンタクロースはいるんだ	ニューヨーク・サン新聞	雪乃
	2 夢十夜より第十夜	夏目漱石	中村純子
	3 自作詩 三篇	谷早苗	谷早苗
	4 風車	山本周五郎	中村緑 (三味線:菊詔陽子)
	5 伊勢物語		羽村郁子
	6 気の毒な奥様	岡本かの子	本間尚子
	7 うた時計	新美南吉	清水美代子
Bステージ 14:00 進行：大槻之子	1 金の輪	小川未明	池田雅子
	2 星	国木田独步	杉浦貴子
	3 てんでんむしの悲しみ	新美南吉	青山芳美
	4 雪の舞	吉田菊子	吉田菊子
	5 むじな	小泉八雲	野田弘未
	6 柿の種	寺田寅彦	松坂貴久子 (音楽:大羽洋子)
	7 春琴抄	谷崎潤一郎	望月鏡子
Cステージ 15:00 進行：木村さおり	1 絵のない絵本	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	朝比奈恵美
	2 女仙	芥川龍之介	菊池音羽
	3 鈴木千奈津詩集より	鈴木千奈津	加藤明美 (ピアノ:池田公生)
	4 満願	太宰治	田中邦子
	5 世界の声の交差点で	旧KDD東京国際電話局	前尾津也子
	6 百人一首に残る	和泉式部・紫式部	古典研究会
	影子サロンの女房達	大貳三位・小式部内侍	阿部侏奈・佐藤すみ江・早川とし子 小黒三重子・白田敦子

演出:倉田ひさし 撮影&音響&編集:山本善則・塚田則夫 (シー・アップ) 選曲:園田芳伸(パストラルサウンド)

◀ 第13回朗読アラカルト実行委員会 ▶

2020年12月12日配信

第13回
朗読 アラカルト
～オンライン～

公式YOUTUBEチャンネルにて
12/26までご覧いただけます。

Aステージ 13時～
Bステージ 14時～
Cステージ 15時～



A
ステージ
(13:00)

進行：飯島晶子



雪乃



中村純子



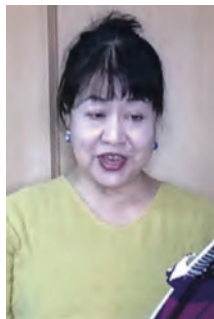
谷早苗

B
ステージ
(14:00)

進行：大槻之子



池田雅子



杉浦貴子



青山芳美



吉田菊子



加藤明美 (ピアノ:池田公生)



田中邦子



前尾津也子



古典研究会



コロナという
巨大な「渦」の中で



いま、私たちは巨大な「渦」の中にいます。コロナという「渦」です。エドガー・アラン・ポーの短編小説『大渦に呑まれて』は、巨大な渦巻に呑み込まれながら、冷静で的確な判断で脱出に成功した漁師の物語。私たちもまた、冷静さを失わず、いま自分がなすべきことを淡々とする必要があるのではないのでしょうか。

2020年で13回目を迎えた12月恒例の「朗読アラカルト」ですが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの開催となりました。「最良」ではないかもしれませんが「最善」の判断であったと思います。

いつの日か、それがコーヒー片手に笑顔で語られる「想い出話」のひとつになりまじうように。

演出 倉田ひさし

「第13回朗読アラカルト」を
終えて



コロナ禍の中「朗読の輪」を繋ごうと呼びかけましたオンライン朗読アラカルト。各地から20組の方々が参加、一同初めての試みに試行錯誤の日々でした。

12月14日から26日迄YouTubeでの限定配信、3ステージ合計2824回のクリックを頂き驚きました。映像は可能性と共に難しさや怖れも感じます。この経験をステップとし、朗読について考える一助にしていければと思います。皆様の貴重なご意見や感想有難うございました。

飯島晶子（事業運営室長）

＼視聴した感想／



初めてのオンラインでのアラカルト。ホールからの映像だけでなく、地方会員の和室や自室からの投稿もあり、又珍しい楽器や和楽器を伴奏に使用して大変新鮮だった。読む時ずっと俯いている、表情の硬さ等見かけたが、皆さんじっくり読みこまれており、楽しんで聞かせて頂いた。

松島邦（企画室長）

出演者から一言.....

◆雪乃(Aステージ1)

8歳の女の子と新聞記者のオジサン、どちらも無理がある！にも関わらず挑んだアラカルト。聞いて頂く喜びを再確認したアラカルトでもありました。参加させて頂き有難う御座いました。

◆谷早苗(Aステージ3)

初めてのオンライン～アラカルトに古希の記念チャレンジとして、参加させて頂きました。自作の詩を三編発表する機会を得、ありがたいことでした。皆様にことばの花びらと想いが届けられたら幸いです。



中村緑(三味線:菊詔陽子)



羽村郁子



本間尚子



清水美代子



野田紘未



松坂貴久子(音楽:大羽洋子)



望月鏡子

C
ステージ
(15:00)

進行:木村さおり



朝比奈恵美



菊池音羽



阿部俐奈



佐藤すみ江



早川とし子



小黒三重子



白田敦子

◆中村緑 (Aステージ4)

地元で朗読、三味線、演出の3人で細々と活動してきましたが、はたして協会の朗読会で通用するのか。朗読、撮影全てに悩みましたが、撮影から編集まで友人達の協力で何とか仕上げる事が出来ました。皆様に感謝です。(鳥取県米子市)



◆羽村郁子 (Aステージ5)

このコロナ禍の中での新企画朗読会。運営に携わった全スタッフの皆様へ感謝。私事…大きな気づきをご報告した。"へたれ" な私にエネルギーを与えてくれたのは、聴いて下さる方々のあの息づかいであった事…改めて。精進せねば!!

◆本間尚子 (Aステージ6)

コロナ禍で上京できない私にとって、オンラインならと参加を決めました。たった数分のことなのに、カメラになれていないものから、目線・表情等々、気になることが多く、集中できず何回も撮り直し。でも、今だから経験できたアラカルトですね。

◆杉浦貴子 (Bステージ2)

オンラインになった事で、今までやってみたかった事にチャレンジ。それは、自作のカンテレ音楽を入れた弾き語りです。携帯で自撮りしての参加だったので、地味な感じになりましたが、雰囲気は伝わったと思います。



◆吉田菊子 (Bステージ4)

私はビデオカメラを使わず、パソコン内蔵のカメラのみで撮影しました。コロナ後も、個人撮影での参加や、オンライン朗読の部を設ければ、より多くの方の参加が可能になり、多彩な企画を行うことができると思います。

◆松坂貴久子 (Bステージ6)

「オンラインだからこそできること」を念頭に個人撮影しましたが、その試行錯誤が本当に楽しく、改めて「朗読の魅力」を実感しました。参加者の方々の工夫からも多くを学ばせて頂きました。実行委員の皆様、ありがとうございました。



◆望月鏡子 (Bステージ7)

80人にご案内。一番嬉しい返信を引用します。「コロナ禍中の楽しみネットの世界発信者側になっておられるのだから素晴らしい!『春琴抄』—この物語の真髄をよくぞこの時間内で浮彫りにしてまとめられましたね。その手腕にも感服です。」

◆朝比奈恵美 (Cステージ1)

初参加…不安いっぱいでしたが、完成した映像は想像以上!! 感激とともに、素敵な作品を創ってくださった倉田先生、編集の皆様へ感謝を深くしております。朗読の醍醐味を、改めて実感したアラカルト。出てよかった!!



◆前尾津也子 (Cステージ5)

私はZOOMで朗読を録画したのですが、映像が気になり朗読に集中できなかったり、逆に映像が乱れたりで大苦戦! ZOOMでは画質も音質も今ひとつでしたが、またとない良い経験でした。ありがとうございました。

◆早川とし子 (Cステージ6)

「百人一首に残る彰子サロンの女房達」を古典を学ぶ仲間5人で朗読させていただきました。博品館でひとりで朗読するより緊張でした。後日YouTubeで配信されたABC全てを聞いて朗読ってこんなに楽しいものだったかと改めて思いました。

◆白田敦子 (Cステージ6)

博品館の「本読み」の時と同じ状況下、録画撮りは演出家の指示のまま動きあ

けなく終了。出来上がった作品は背景と木版画家デビッド・ブル氏の復刻した各歌人の映像と相まって美しかった。出演者は緊張していて最後には笑顔が欲しかった。

司会者から一言……………



◆大槻ゆき子 (B司会)

事前収録の音が案内役として収まるか不安でした。でも実際にお会いしているかのように、温かくホッとするように務めました。当日は実に多彩な朗読に惹きつけられ、しかも衣装から背景、音楽など全て最後まで楽しめる充実した会でした。



◆木村さおり (C司会)

初めてのオンライン開催、どのようにナレーションを読んだらよいか悩みましたが、会場で聞いているかのような臨場感を少しでも出せるように心がけました。皆さまの朗読と映像がとても素晴らしくて、ただただ感激でした。

スタッフから一言……………

◆朝比奈恵美

夏から会議を重ね、事業運営室の知恵と工夫が詰まったアラカルト! staffとしての裏話…静まり返った緊張感の中、舞台袖では幕の上げ下げに筋肉痛を心配し、会場内を走り回り膝はガクガク!! 気だけが若い一日でした。

◆大沼雪乃

3種類の背景を使い分ける為に手動で幕の上げ下ろしをしたのも良い思い出! 事業運営室総力を挙げて、開催に知恵を絞りました。読んで見て聞いて、楽しかったと言って頂けましたら室員は皆本望で御座います!

＼視聴した感想／



コロナ禍での「朗読アラカルト」配信、楽しみにしておりました。舞台と違いお一人お一人の声、表情が直に伝わり久しぶりに「朗読の世界」を堪能することができました。カメラ目線も難しいですね。地方に住んでいる私にはよい刺激となりました。

土屋久美子・新潟(会員)

第18回「朗読の日」

朗読者とお客様の息遣いの相乗効果で成り立ってまいりました「朗読の日」残念ながら2年続けて中止となりました。新たな気持ちで来年に計画ができます事を祈るばかりです。タンポポは寒い時期に踏まれれば踏まれるほど綺麗な花を咲かせるそうです。思いましょうか……



今は、博品館に咲く「朗読の花」への修練の時、と。

実行委員長
飯島晶子

千葉・いきいき大学

10月3日、直にいきいき大学の皆さまに向かって朗読するという貴重な機会をいただきました。教室の受講生岡田久美子・松坂喜久子と3名で参加、やはり生に勝るものはないと実感した2時間。朝の9時半から400名近い参加者が詰めかけて大盛況となりました。

密や接触を避けるうちに人の意識が内向きになって、空気感、皮膚感覚、気配を感じるなどの動物的な感性が衰えてきているのを感じるこの頃、頭でっかちになりがちな今だからこそ、五感を意識して欲しいと思っの講演+朗読でしたが、キラキラ輝いたり涙をこぼしたりする皆さまの目がとても印象的でした。

河崎早春



オンライン朗読教室

皆さんから、笑顔と嬉しい声が届いています。同じ空間を共有できる対面の教室の良さはもちろんですが、コロナ禍の現在、地方からも参加が可能なこと、とても身近にお互いの朗読を聞きあえること等オンラインのメリットも生かしつつ進めています。現在、北海道・秋田・新潟・山形・鳥取・高知・関東各県から参加者が！現在は、河崎早春教室・飯島晶子教室で実施中です。



朗読ボランティアグループ「かもめ」



昨年3月20日に開催予定でした「かもめ朗読会」はコロナ禍の中、やむなく断念致しました。高齢者施設、幼稚園への訪問も見合わせています。その間毎月、会員の希望者に朗読原稿を送信しています。10月に定例会・総会も行い、これからという時に又活動中止です。早くコロナ禍が収束することを願っています。来年3月は「かもめ朗読会」開催予定です。

かもめ代表 稲本由美子

新入会員オリエンテーション

8月25日、29日・1月18日に、新入会員へのオリエンテーションをオンラインで開催しました。コロナで大変なこともあります、地方からも気軽に参加できるのは嬉しいとの声も頂きました。朗読、そしてボランティアに想いの深い皆さんと、一日も早く、直に活動の輪を広げていきたいと実感する時間でした。

飯島晶子 稲本由美子



オンライン古典研究会



6月からオンラインで開催。「一条天皇と后たち」をテーマに、一条天皇と定子及び彰子のサロンを学び、10月からは「紫式部日記」をもとに王朝文化の世界に親しんでいます。「朗読アラカルト～オンライン～」にも「百人一首」で参加しました。

阿部俐奈

掲示板 会員の朗読会と活動情報(2021年2月～2021年8月)

日時	公演名	場所	出演者名
2月11日	ピアノで綴る愛と哀しみの歌～ショパンの手紙とともにvol.3～	瑞穂ビューパーク・スカイホール 大ホール	見澤淑恵
2月22日	毎月第3月曜日 サロン民話朗読	北とびあ	吉川京美
2月23日	ショパン大好きPart4 ピアノと朗読で紡ぐショパンの物語vol.1 ～ポーランドからパリ～	アミュゼ柏 クリスタルホール	見澤淑恵
3月21日	星野富弘詩画集と珠玉の名曲	ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール	見澤淑恵
4月4日	とんからりん75回 偶数月第1日曜	アトリエカフェとごころ	吉川京美
3月19日	オンライン朗読 風立ちぬ(堀辰雄作)	チェホヴィアン・オンライン・シアター(配信)	清水柳一
4月30日	三人寄ればの朗読会	なかの芸能小劇場	田中邦子 早川とし子 松島邦
5月8日	ルレシ朗読サロンの会	栃木県総合文化センター	青木ひろこ
5月9日	お話と音楽の玉手箱Vol.3 宮沢賢治「土神と狐」フルート&ギターとともに	八王子市南大沢文化会館交流ホール	中田真由美
5月16日	樂(だんらん)	北とびあ	吉川京美
5月21、22日	オンライン朗読劇 ワーニャ伯父さん(アントン・チェホフ作)	チェホヴィアン・オンライン・シアター(配信)	清水柳一
5月30日	ブラテールと私～クラシックギターと共に	宇都宮 be off	青木ひろこ
7月23、24日	朗読劇 スペードの女王 (アレクサンドル・プーシキン作)	未定	清水柳一
8月4日	「未来への伝言」被爆ピアノコンサート	自由学園明日館	飯島晶子
配信中	今日の万葉集	TheVoicek飯島晶子YOUTUBEチャンネル	飯島晶子

協会だより

朗読ニュースでは伝えきれない月々の情報を、メール配信しています。加賀美名誉会長の出演番組の紹介・現在開催できないですが朗読公演・オンライン講座・事務室からのお知らせなどを会員の皆さまにお届けしています。

折に触れて「かもめだより」「事務室だより」も配信しています。皆さまからの掲載希望情報・ご意見もお気軽にお寄せください。



事務室からのお知らせ

★事務室情報

事務室は現在、平日10時～15時半 在宅勤務にてEメール、HPの更新等を行っています。(平日緊急連絡は携帯【090-5565-1722】、協会宛て郵便は山田事務室長宅へ転送) 事務室作業は、月3日程度(不定期)です。事務室の電話・FAXでは十分な対応ができませんので、Eメールをご利用ください。メールアドレス未登録のかたは、ぜひ登録をお願い致します。

★会費更新のお願い

2021年度年会費の振込用紙を同封しました。3月末日までに手配をお願い致します。年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円 (学生証のコピーを送付下さい)

★ボランティア保険加入 (期間:2021/4～2022/3)のご案内
全会員を基本コースに加入申込み致します(保険料350円は協会負担)、天災コース(保険料600円)をご希望の方は、追加保険料250円を会費と共にお振込ください。(通信欄にその旨をご記載下さい)。また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務室へご一報下さい。

★八重洲朗読会登録審査

締切は年2回3月末・9月末です。審査希望の方は、事務室へお申込下さい。八重洲朗読会は現在お休みしています。今後新会場などを検討し続ける予定です。

★会員情報 (2020年1月～12月入会順 22名)

新入会員: 澤則子・石川美子・近藤紫・小倉紫月・阿美優貴・松田萌子・根岸登志子・尾上葉子・太田ケイ子・中村緑・本庄ヒカリ・西尾賢司・松川信子・片山里佳子・福野智恵・清田美智代・清水柳一・野澤遵宜・佐藤千佳・藤倉玉枝・大井愛子・渡邊洋子

★朗読教室

4月期会員の申込受付開始は2月15日(月)10:00～、一般受付は2月18日(木)10:00～ 詳細は同封の「朗読教室のごあんない」をご覧ください。

★ご寄附ありがとうございました

加賀美幸子

編集後記

2021年朗読ニュース早春号。お楽しみいただけましたでしょうか? 新しい朗読活動を模索した1年を振り返り、豊かな時の創造を願い発行いたしました。窮屈に感じる日々だからこそ、美しい言葉に感動し、朗読の素晴らしさを実感できるのでしょうか。同じ夢を持ち本紙発行にご協力お寄せくださった方々に心から感謝! そして皆様のご健康を祈念しております。(A)

担当: 朝比奈恵美 佐藤すみ江 田中邦子

